

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市東成区深江南1-2-11	氏名	瓜生製作株式会社 代表取締役 瓜生卓郎
事業の概要（事業者の主たる業種）		26生産用機械器具製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2013	年度			851	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			587.1	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			552	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					3.5	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					35.1	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					6	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
ISO14001:2015年版の認証を継続し、その活動に精力的に取り組んでいる。エネルギー使用量の削減、省エネ製品の開発、空調機器の更新、作業効率の改善、電気料金の監視・周知等により、温室効果ガス削減に一定の成果が出ている。
(2) 次年度の取組み予定について
環境配慮型の生産設備や高効率空調機への更新、節電の周知徹底、作業効率の改善、生産時の不良率低減等に取り組む。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府八尾市若林町2丁目91番	氏名	株式会社レザック 代表取締役 川口 佳洋
事業の概要（事業者の主たる業種）		32その他の製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			246.8	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			236.9	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			223.3	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-1	%						
再エネ利用率					15.2	%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					9.5	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					5.7	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
削減目標達成のために現在使用している空調などを高効率空調などの最新設備に順次置き換える動きを行っている。空調については本年度も随時置き換えをする計画を検討している。電灯等の使用についてもルール化を進めており、使用していない部屋や交通量が少ない通路などは消灯し、通行するだけなどの際は原則使用しない方針で推進している。工場内における電灯・空調使用のルールを決定・明文化し、社員に周知して運用を行い改善方法などを検討している。
(2) 次年度の取組み予定について
次年度の取組み予定として、空調設備のさらなる設備更新の実施を検討している。交換設備としては事業所内の空調を予定している。その他の取組みとしては、現在使用している車両をハイブリット車等への置き換えを実施していく計画を検討している。古い車両を置き換える際にハイブリット車やEV、その他環境技術を取り入れた車種のみを選定対象とする方向で検討している。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市東成区深江南1-16-14	氏名	ドギーマンH.A.ホールディングス株式会社 代表取締役 林 雄一
事業の概要（事業者の主たる業種）		32その他の製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			344.6	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			388	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			333	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					11.2	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					3.4	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					14.2	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2023年度に空調設備の更新と、換気設備（全熱交換器）の更新をいたしました。削減効果として、空調設備については94,061kWhを削減することができました。今後は、社内でのエネルギーを使用する設備の把握、エネルギー使用量の管理や、設備の運用管理を実行することで、削減目標の達成をしていきます。
(2) 次年度の取組み予定について
引き続き、エネルギー使用量の管理、設備の運用管理を実行し、エネルギー削減に努めます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市荒本新町2-36	氏名	有限会社ライラクス 代表取締役 安井 義一郎
事業の概要（事業者の主たる業種）		50各種商品卸売業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分					温室効果ガス総排出量							
基準年度	2022	年度			68.4	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			78.5	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			118.5	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-4.3	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-73.2	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					-51	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
<p>2023年度に本社の空調設備の大部分を更新しました。その効果により、同年度の電気使用量は2022年度と比較して削減することができました。しかしながら、電力会社の変更に伴いCO<sub>2</sub>排出係数が上昇したため、計算上のCO<sub>2</sub>排出量は増加する結果となりました。</p> <p>2024年度には、電力会社を以前契約していたシン・エナジーへ再度変更しましたが、電気使用量および排出係数の増加により、CO<sub>2</sub>排出量の削減には至りませんでした。今後も、排出係数の動向については電力会社の情報を継続的に確認し、適切な対応を検討してまいります。</p>
(2) 次年度の取組み予定について
<p>更新をした空調機器の適切な利用に努めます。</p> <p>また、その他の設備についても、使用状況の把握および適正化に努めます。</p>

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	〒593-8302 大阪府堺市西区北条町2丁23番1号	氏名	株式会社 街路 代表取締役 本田 正
事業の概要（事業者の主たる業種）		6総合工事業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			118.9	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			96.1	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			77.9	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					28.9	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					34.5	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					18.9	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
弊社は道路舗装工事を主業種としております。 2024年度は受注数が減少した為それに伴い必然的に温室効果ガス総排出量も減少しております。 再生利用可能な古紙回収なども、わざと社員の目に触れやすくした成果があり、無駄なコピー用紙使用などが減りました。
(2) 次年度の取組み予定について
(1)で述べた理由では本質的な部分での取組みとは言い難いので、 もっと意識的にアイドリング時間を減少させて、温室効果ガス排出量の減少を 新しく加わった社員への周知に励みます。 引続きゴミ取集や再生可能資源ゴミの積極的分別を徹底して参ります。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市中央区内本町1-1-10 リンサンビル	氏名	中林商事株式会社 代表取締役 中林 稔堯
事業の概要（事業者の主たる業種）		69不動産賃貸業・管理業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			112.9	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			116.7	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			145.4	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-29	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-28.8	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					-24.6	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
厳しい暑さの影響で空調機の使用期間が例年より長くなり電力使用量が増加した為、CO2排出量が増加したと考えます。
(2) 次年度の取組み予定について
照明管理等共用部の節電対策等を徹底して実施することでCO2削減を実現できるよう取り組む

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪新池島町 4-2-35	氏名	有限会社森口製作所 代表取締役 森口 清治
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2021	年度			67	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			36.9	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			59.6	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-51.6	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					11	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					-61.5	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
毎年確実に温室効果ガスの削減が出来ている。しかし、設備投資の結果であり、（省エネ設備に更新している）エアコンの温度を上げるなど、これからの削減は難しい。設備更新にも限度があり、いまの経済状況からして来年の更新は難しいと言える。とはいえ、出来る限りの企業努力はしていこうと思う。
(2) 次年度の取組み予定について
繰り返しになるが、設備投資にも限界があり、来年度は難しい。すでに省エネ設備もはいつており、照明もすべてLEDに切り替え済。太陽光発電も屋根には設置済。機械の同時稼働を減らすなど、企業努力はやっていきたい。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	東大阪市若江東町6-3-39	氏名	日光パッキン株式会社
事業の概要（事業者の主たる業種）		32その他の製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度	157.3	t-CO <sub>2</sub>								
前年度	2023	年度	170.7	t-CO <sub>2</sub>								
報告年度	2024	年度	143.4	t-CO <sub>2</sub>								
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率		15.9	%									
再エネ利用率			%									
基準年度比削減率（排出量ベース）		8.8	%									
前年度比削減率（排出量ベース）		16	%									
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）			%									
前年度比削減率（原単位ベース）			%									

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
第2工場では電気自動車の充電を始めると電力量前年比約16%増となった。環境にやさしい電気自動車だが充電段階で相当なエネルギーを消費することを実感した。
(2) 次年度の取組み予定について
・省エネエアコンへの交換を予定 ・「MS-RDK」（吸込み気流を最適化し、特殊加工セラミックスの効果でエアコンの消費電力を抑える省エネルギー部材）の販売を手掛ける

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市西区九条南2丁目5番24号	氏名	株式会社ダイロック 代表取締役 箕村 理
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			681.8	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			583.9	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			645.2	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-5.8	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					5.4	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					-10.5	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
温室効果ガス総排出量は昨年比で6.6%の増加となった。主な原因は、熱間鍛造製品の生産量増に伴うLPG使用量の増加であった。特に最も重量の重い製品（JIS割棒M3）の売上が前年度（2023年度）より倍増しており、必要な加熱量が増大したことが要因と推定している。前年より計画していたウォーキング式加熱炉の更新は完了した。メーカーの調査日程が合わず、従来からの使用ガス低減量は測定できていないが、周囲温度が下がっており、断熱性能の向上を確認している。
(2) 次年度の取組み予定について
老朽化機器の更新を引き続き計画していく。一方、現在の最重要課題は、夏季の熱中症対策を目的とした工場内温度の低減である。これまでは窓を開けたり、一部にスポットクーラーを設けたり行っていたが、作業場が38°を超える環境となっていた。冷却設備の選定は温室効果ガス排出量を考慮し、エアコンなどの消費電力が大きいものではなく、ルーフファンや断熱材の設置といった対策を行っていく予定である。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市東成区中道三丁目15番5号	氏名	クロバー株式会社 代表取締役社長 岡田 知己
事業の概要（事業者の主たる業種）		32その他の製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			190.1	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			189.7	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			183.3	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-7.4	%						
再エネ利用率					20	%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					3.6	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					3.4	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）					工場出庫金額、外販売上：千円							
基準年度比削減率（原単位ベース）					12.4	%						
前年度比削減率（原単位ベース）					15.4	%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
太陽光発電システムを新設し、3年目に入った。当初の目論見よりも低い傾向に有るものの、日照時間に恵まれたこともあり効果的に発電でき貢献している。 重点対策として掲げている「機器台帳の整備」に関しては、機器の把握段階であり昨年度に引き続き台帳化を完了させる。 同じく「コンプレッサーの適正管理」に関しては、適正な点検等の実施は出来ているものの、詳細数値把握やその管理が未達である。 その他の項目に関しては、概ね適切に実施できている。
(2) 次年度の取組み予定について
2026年以降の取組みとしては、 ① 「機器台帳の整備」及び適切な運用 ② 「コンプレッサーの適正管理」の詳細把握と適切運用 以上を中心として、その他必要事項を適宜追加補填していく

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市福島区福島6丁目 4番10号 ウエストビル2階	氏名	医療法人臨研会 理事長 福本 素由己
事業の概要（事業者の主たる業種）		83医療業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			5	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			6.6	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			6.6	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-2.9	%						
再エネ利用率					0	%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-32	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					0	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
昨年同様、従業員全体で省エネに取り組んでいるが、寒波の影響により、冬場にエネルギー総使用量が増加した。新しい取り組みとしては、推進体制の整備や事業所全体の機器管理台帳の整備を進めているところである。
(2) 次年度の取り組み予定について
温室効果ガス総排出量の削減を目指し、2024年度からの取り組みを強化し、2026年4月頃に省エネ可能な設備機器の更新を検討している。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市鶴見区放出東一丁目8番16号	氏名	理研アルマイト工業株式会社 代表取締役社長 上野 翼
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2013	年度			738.3	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			514.3	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			454	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					9.9	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					38.5	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					11.7	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2023年度に変圧器の更新を実施しました。 今年度もエネルギー使用量の管理や、設備の運用管理を実行することで、削減目標の達成をしていきます。 冷暖房の稼働箇所時間の調整・電灯の点灯消灯のこまめな対応、工場設備の稼働時間の調整にて対応実施
(2) 次年度の取組み予定について
引き続き、エネルギー使用量の管理、設備の運用管理を実行し、エネルギー削減に努めます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市西区江戸堀1丁目23-21 ビエラ 江戸堀 1F	氏名	縁petit株式会社 代表取締役 丸尾 聖
事業の概要（事業者の主たる業種）		76飲食店		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度					16.3					t-CO <sub>2</sub>
前年度	2023	年度					15.6					t-CO <sub>2</sub>
報告年度	2024	年度					15.6					t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							0					%
再エネ利用率												%
基準年度比削減率（排出量ベース）							4.3					%
前年度比削減率（排出量ベース）							0					%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）												%
前年度比削減率（原単位ベース）												%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
使用していた空調を新しいものに交換したため、温室効果ガスの排出が減った。またエネルギーごとの使用量を台帳等で把握している。
(2) 次年度の取組み予定について
ガスの機器なども徐々に最新のものへ変更し、温室効果ガスの排出を減らしていく予定。ボイラーの圧力なども定期的に点検し管理していく。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市加納5-14-12	氏名	株式会社美作研磨工作所 代表取締役 福西邦彦
事業の概要（事業者の主たる業種）		31輸送用機械器具製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2014	年度			125		t-CO <sub>2</sub>					
前年度	2023	年度			57.9		t-CO <sub>2</sub>					
報告年度	2024	年度			68.6		t-CO <sub>2</sub>					
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率				4.2		%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）				45.1		%						
前年度比削減率（排出量ベース）				-18.5		%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）				生産金額								
基準年度比削減率（原単位ベース）				32.8		%						
前年度比削減率（原単位ベース）				-17.8		%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価	
デマンドを設置し、より細かに「見える化」が実現し、社内全体で省エネ活動が来ている。前年度からCO2排出量が増加した理由としては、試作・研究開発による機械作動時間が増加したためと思われる。	
(2) 次年度の取組み予定について	
朝一番の空調や工作機械の電源ON時間をずらして、デマンドピークを抑える。また、設備更新で温室効果ガス削減に取り組む。	

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	京都市下京区松原通寺町 西入石不動之町695番地	氏名	株式会社コンコルディア 代表取締役 杉本達哉
事業の概要（事業者の主たる業種）		20なめし革・同製品・毛皮製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			68.2	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			61.7	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			62.6	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					7.3	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					8.2	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					-1.5	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
・稼働時間の削減（年間休日増：251日⇒250日（▲1日）、残業時間減：（前年）2,198.5h ⇒（実績）2,482.5h（前年比112.9%））
(2) 次年度の取組み予定について
・稼働時間の削減（年間休日増（+1日）：出勤日数 250日⇒249日（▲1日））

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市柏田西1-12-26	氏名	帝国イオン株式会社 代表取締役社長 中村 綾佑
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			515.6		t-CO <sub>2</sub>					
前年度	2023	年度			603.6		t-CO <sub>2</sub>					
報告年度	2024	年度			559		t-CO <sub>2</sub>					
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					5.7		%					
再エネ利用率							%					
基準年度比削減率（排出量ベース）					-8.4		%					
前年度比削減率（排出量ベース）					7.4		%					
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）							%					
前年度比削減率（原単位ベース）							%					

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
<p>2024年度は過去最高の生産量を達成しましたが、電気使用量は2023年度から8.5%削減しました。都市ガス、電気ともに基準年度から使用量を大幅に削減できました（都市ガス3.7%、電気6.3%）。しかし、電気のCO2排出係数が高くなったことで、基準年度と比較してCO2排出量は増加しました。</p>
(2) 次年度の取組み予定について
<ul style="list-style-type: none"><li>省エネルギーセンター様のご支援を受けてエネルギー使用の最適化に取り組んでいます。</li><li>硬質クロムめっき全槽（8槽）の熱交換器を随時ヒーターからニオブ製蛇管に変えていく予定です。</li><li>現在取り組んでいる硬質クロムめっき用装置の小型化を継続し、エネルギー消費量を抑制できる生産方法を確立します。</li><li>電気自動車やドローンの航続距離延長に貢献できる軽量（従来比1/2以下）な二次電池用集電体の開発を進めており、各メーカーに試作品を提供しています。</li></ul>

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府門真市幸福町20-2	氏名	株式会社ハイジ 梶 由勝
事業の概要（事業者の主たる業種）		85社会保険・社会福祉・介護事業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度					129.2	t-CO <sub>2</sub>				
前年度	2023	年度					121.3	t-CO <sub>2</sub>				
報告年度	2024	年度					159.9	t-CO <sub>2</sub>				
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							-16.6	%				
再エネ利用率								%				
基準年度比削減率（排出量ベース）							-23.8	%				
前年度比削減率（排出量ベース）							-31.8	%				
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）								%				
前年度比削減率（原単位ベース）								%				

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
令和6年6月、令和6年10月に有料老人ホームを2施設開設したことによって全体の温室効果ガス排出量は増加しました。うち1施設には太陽光発電システムを導入するなど削減に取り組んでおります。
(2) 次年度の取組み予定について
電量削減のために、LED照明の普及、空調管理ルールを制定を行う。また、省エネ担当者が定期的に省エネ報告会を取りまとめ、定期的な改善を進める

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府堺市堺区新町5番32号 新町ビル2F	氏名	株式会社 上埜 代表取締役 宮菌 政卓
事業の概要（事業者の主たる業種）		69不動産賃貸業・管理業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			43.2	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			55.8	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			47.4	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					8	%						
再エネ利用率					10	%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-9.7	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					15.1	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
本年度は、昨年比でエネルギー総使用量及び温室効果ガスの総排出量が共に削減が出来ました。昨年に高効率の空調への入替えとLED照明への変更および保有する車両1台をハイブリッドからプラグインハイブリッド車へ入替えた事により削減に反映されました。又、昨年度は自家発電（再エネ）蓄電池に不具合が解消されないままでしたが、本年度は解消されたため大幅に利用料が増加しました。
(2) 次年度の取組み予定について
次年度は、保有自動車の削減を実施しました。又、次年度以降になりますが古い設備（エレベーター・ブースターポンプなど）の入替えを検討したいと思います。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	高槻市芥川町1丁目2番A-0111号	氏名	アクトアモーレ・店舗部会管理組合法人 理事 柿原 勝彦
事業の概要（事業者の主たる業種）		69不動産賃貸業・管理業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2013	年度					716.8					t-CO <sub>2</sub>
前年度	2023	年度					504.9					t-CO <sub>2</sub>
報告年度	2024	年度					500.3					t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							-2.7					%
再エネ利用率												%
基準年度比削減率（排出量ベース）							30.2					%
前年度比削減率（排出量ベース）							0.9					%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）												%
前年度比削減率（原単位ベース）												%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
フロートスイッチの動作不良により排水ポンプが空運転していた為、フロートスイッチを取替えた。8月の電気使用量が多かった為、冷房の設定温度を1℃上げた。
(2) 次年度の取組み予定について
閉館時間を早め、照明点灯時間、エアコン、エレベータ、エスカレータの運転時間を短縮する。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市大蓮東4-12-45	氏名	株式会社 中島大祥堂 代表取締役 中島 慎介
事業の概要（事業者の主たる業種）		9食料品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			827.4	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			838	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			737.9	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					9.7	%						
再エネ利用率					10	%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					10.8	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					11.9	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
<p>2014年9月～10月にかけて電気式空調設備のすべてを新型機器に更新実施。これにより空調での電気使用量を10%ほど削減。電気使用量としては、昨年2023年度対比で196.12千Kwhの削減となっている。</p> <p>2024年12月に熱交換機付コンプレッサーから生成された温水を貯留す、電車利用を増やすことでガソリン使用量を削減。温室効果ガスの排出量ベース削減量としては基準年度比10.8%、昨年度比11.9%、原油換算量比で9.7%の削減となっている。</p>
(2) 次年度の取組み予定について
<p>2025年1月導入の新型レトルト殺菌装置(熱水回収再利用タイプ)が4月以降に本格的に稼働することによりボイラー蒸気使用量の削減につなげる。</p> <p>また新規で導入した4連式カップシーラーに関しては、2025年5月から本格稼働となる予定。この機器は旧型4連機器と比べてエア使用量が20%ほど削減されて仕様となっているため、今後その影響が出てくるものと考えられる。</p>

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府貝塚市森497番地	氏名	医療法人 永和会 理事長 南川 佳之
事業の概要（事業者の主たる業種）		83医療業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			1201.6	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			958.6	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			659.5	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					1.6	%						
再エネ利用率					100	%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					45.1	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					31.2	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
院内のSDGs研修を通じ職員の意識向上とともにエネルギー対策に取り組みCO2排出削減を進めている。
(2) 次年度の取組み予定について
前年度に引き続き大阪ガスとD-GREEN契約を更新し再生可能エネルギー由来であるとの価値を付与しエネルギー対策に取り組む。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市住之江区御崎2-14-25	氏名	東亜機刃株式会社 代表取締役 馬場 基博
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			40.3	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			45.9	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			43.4	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-1.7	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-7.7	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					5.4	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2023年度に空調設備の更新を実施しましたが、夏季の高温期間が長引いた影響により、空調の使用頻度が増加しました。その結果、2024年度の電気使用量は基準年度と比べてわずかに増加しました。設備更新による効率化を図ったものの、気候要因により削減効果が十分に発揮されなかったと考えられます。今後は、エネルギー使用量の継続的な監視と、空調設備の運用管理の徹底を通じて、削減目標の達成に向けた取り組みを強化してまいります。
(2) 次年度の取り組み予定について
引き続き、エネルギー使用量の管理、設備の運用管理を実行し、エネルギーの削減に努めます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市阿倍野区播磨町1-14-2	氏名	株式会社樋口松之助商店 代表取締役 樋口弘一
事業の概要（事業者の主たる業種）		32その他の製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分					温室効果ガス総排出量							
基準年度	2022	年度			283.3			t-CO <sub>2</sub>				
前年度	2023	年度			312.4			t-CO <sub>2</sub>				
報告年度	2024	年度			294			t-CO <sub>2</sub>				
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					3.5			%				
再エネ利用率								%				
基準年度比削減率（排出量ベース）					-3.8			%				
前年度比削減率（排出量ベース）					5.9			%				
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）								%				
前年度比削減率（原単位ベース）								%				

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
一昨年度にコンプレッサーの更新を行い、昨年度はボイラーと中温用エアコンの更新を行いました。設備の更新と共にエネルギー使用量の管理や、設備の運用管理を実行することで、削減目標の達成をしていきます。昨年度に引き続き、原油換算で見えた場合は基準年度から削減が来ておりますが、電気の二酸化炭素排出係数の関係で、温室効果ガス総排出量で見えた場合は基準年度から増加しております。参考) 2025年度報告：0.000419(t-CO <sub>2</sub> /kWh)、2023年度報告：0.000311(t-CO <sub>2</sub> /kWh)
(2) 次年度の取組み予定について
今後も、古い設備については、最新の省エネ機器に更新することを検討していきます。また、引き続きエネルギー使用量の管理、設備の運用管理を実行し、エネルギー削減に努めます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府門真市四宮6丁目1番25号	氏名	内外紙工株式会社 代表取締役 若林敬造
事業の概要（事業者の主たる業種）		14パルプ・紙・紙加工品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			101.2	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			123.7	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			111.1	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率			7.9	%								
再エネ利用率				%								
基準年度比削減率（排出量ベース）			-9.8	%								
前年度比削減率（排出量ベース）			10.2	%								
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）				%								
前年度比削減率（原単位ベース）				%								

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
基準年度と比べると電気事業者の変更により排出量が増加したが、前年度と比べると10.2%削減できた
(2) 次年度の取組み予定について
電気自動車導入を検討しているが、問題が多そうなので、しばらくは様子見する。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市港区波除2-7-19	氏名	翁鍼灸整骨院 翁 隆
事業の概要（事業者の主たる業種）		83医療業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2013	年度					5.3					t-CO <sub>2</sub>
前年度	2023	年度					9.2					t-CO <sub>2</sub>
報告年度	2024	年度					5.8					t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							42.1					%
再エネ利用率												%
基準年度比削減率（排出量ベース）							-9.4					%
前年度比削減率（排出量ベース）							37					%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）												%
前年度比削減率（原単位ベース）												%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
LED設備の導入や、自動化を順次行っている
(2) 次年度の取組み予定について
省エネ診断を受診し、高効率設備への切り替えや省エネ製品の導入を検討する。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府堺市堺区遠里小野町2-4-26	氏名	株式会社 田中食品興業所 代表取締役 田中 利明
事業の概要（事業者の主たる業種）		9食料品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分					温室効果ガス総排出量							
基準年度	2013	年度			3917.5			t-CO <sub>2</sub>				
前年度	2023	年度			2762.1			t-CO <sub>2</sub>				
報告年度	2024	年度			4157.8			t-CO <sub>2</sub>				
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率				3.5			%					
再エネ利用率				0			%					
基準年度比削減率（排出量ベース）				-6.1			%					
前年度比削減率（排出量ベース）				-50.5			%					
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）							%					
前年度比削減率（原単位ベース）							%					

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
同一製品の製造をまとめて行うことで、洗浄頻度を削減したことでエネルギー使用回数を削減したことにより、排出量の削減に取り組んだ。ただ、電気の排出係数が前回よりも悪化しているため、「基準年度比削減率」「前年度比削減率」がマイナス値となっていると考えられる。
(2) 次年度の取組み予定について
環境マネジメントシステム ISO14001を自社運用を継続し、環境保全と環境負荷の少ない製品開発に努め、省資源・省エネルギーを進めていきます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市港区港晴2-4-4	氏名	北村医院 北村 雅哉
事業の概要（事業者の主たる業種）		83医療業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2013	年度					23.5					t-CO <sub>2</sub>
前年度	2023	年度					23.2					t-CO <sub>2</sub>
報告年度	2024	年度					21.3					t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							7.1					%
再エネ利用率												%
基準年度比削減率（排出量ベース）							9.4					%
前年度比削減率（排出量ベース）							8.2					%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）												%
前年度比削減率（原単位ベース）												%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
電力消費について、意識を高めることで前年度比で削減をすることができました。
(2) 次年度の取組み予定について
目標削減率を1.5%とし、前年度の数値と現状の数値を比較しながら、室温調節などこまめに削減に取り組む予定です。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市浪速区 桜川3-5-4	氏名	株式会社 浅野製作所 代表取締役 浅野 透
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			158.3	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			131	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			120.4	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率			3.7	%								
再エネ利用率				%								
基準年度比削減率（排出量ベース）			23.9	%								
前年度比削減率（排出量ベース）			8.1	%								
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）				%								
前年度比削減率（原単位ベース）				%								

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
会社全体でCO2の更なる削減を目指し、現状以上にCO2の削減を目指していきたい。
(2) 次年度の取組み予定について
電気自動車への切り替えなどを検討したい。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府高石市高砂3丁目30番地	氏名	大阪金属株式会社 代表取締役 津田 岳彦
事業の概要（事業者の主たる業種）		22鉄鋼業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			878.8			t-CO <sub>2</sub>				
前年度	2023	年度			1007.4			t-CO <sub>2</sub>				
報告年度	2024	年度			960.5			t-CO <sub>2</sub>				
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					1.4			%				
再エネ利用率								%				
基準年度比削減率（排出量ベース）					-9.3			%				
前年度比削減率（排出量ベース）					4.7			%				
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）								%				
前年度比削減率（原単位ベース）								%				

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
<p>2024年1月より、1日の就業時間を15分増やし年間出勤日数10日を減らしました。年間総合計時間差は15時間ですが、生産量は微量増加し、電気炉等工場設備の起動電力を減らすことでエネルギー使用量の削減に繋がりました。</p> <p>2024年9月導入の中子造型機2台は、コンプレッサーが不要となり、省エネ効果を実感できました。</p> <p>工場にクーラーを3台設置しましたが、エネルギー使用量の増加分よりも取組み効果による削減が勝った結果となりました。削減率はマイナスの理由は、関西電力の排出係数の変動によるものです。</p>
(2) 次年度の取組み予定について
<p>2025年6月に従業員の熱中症による健康被害を防ぐために、倉庫棟にもクーラー1台を増設。</p> <p>エネルギー使用量は必然的に増加し、温室効果ガスの削減は厳しい状況になる予定です。</p> <p>ハード面での取組みは予定していませんが、4月から毎月外部講師を招いて3S活動を実施。</p> <p>従業員の3S活動を通しての意識改革により、作業効率をあげエネルギー使用量の削減に結び付けたいです。</p>

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市住之江区粉浜西2-3-34	氏名	株式会社S N食品研究所 代表取締役 有吉 義之
事業の概要（事業者の主たる業種）		52飲食料品卸売業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分					温室効果ガス総排出量							
基準年度	2022	年度			274.7			t-CO <sub>2</sub>				
前年度	2023	年度			307.3			t-CO <sub>2</sub>				
報告年度	2024	年度			289.3			t-CO <sub>2</sub>				
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					8.7			%				
再エネ利用率								%				
基準年度比削減率（排出量ベース）					-5.3			%				
前年度比削減率（排出量ベース）					5.9			%				
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）								%				
前年度比削減率（原単位ベース）								%				

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
電気、ガソリンともに削減しているが、電気の排出係数悪化により、基準年度比削減率がマイナスとなった
(2) 次年度の取組み予定について
2025年8月高効率空調機器入替を実施し、更なる節電に務める 空調機器にデマンド設置、データ収集に努める

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府泉大津市東助松町2-9-1	氏名	ケーキファクトリーノア 大工 真晃
事業の概要（事業者の主たる業種）		58飲食料品小売業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分					温室効果ガス総排出量							
基準年度	2021	年度			13			t-CO <sub>2</sub>				
前年度	2023	年度			10.4			t-CO <sub>2</sub>				
報告年度	2024	年度			4.2			t-CO <sub>2</sub>				
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					58.5			%				
再エネ利用率								%				
基準年度比削減率（排出量ベース）					67.7			%				
前年度比削減率（排出量ベース）					59.6			%				
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）								%				
前年度比削減率（原単位ベース）								%				

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
設備（冷蔵・冷凍庫、ショーケース、オープン等）を更新し、省エネへ取り組む。 空調温度の適正化や環境に配慮した容器・包装材の導入、過度な包装の取りやめ。 店頭の緑化をおこなう。 今年度実施：冷蔵・冷凍庫の設備更新、空調温度の適正化。
(2) 次年度の取組み予定について
次年度実施：空調温度の適正化、過度な包装の取りやめ。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市浪速区元町1丁目5番7号 ナンパプラザビル10階	氏名	富士マテリアル株式会社 代表取締役社長 西尾 一
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			132.7	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			165.1	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			167.4	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-1.5	%						
再エネ利用率					70	%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-26.1	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					-1.4	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）					生産量							
基準年度比削減率（原単位ベース）					-26.1	%						
前年度比削減率（原単位ベース）					-1.4	%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
取扱量の増加に伴い車両稼働が増えたことから、軽油使用量が前年より増加した。このため温室効果ガス排出量がわずかに増加し、削減率がマイナスとなった。
(2) 次年度の取組み予定について
次年度は燃費性能の高い車両の活用により温室効果ガス排出量の削減を一層推進すると共に事業所内の電気使用量の削減にも節電意識を高め、温室効果ガス排出量の削減に努める。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市箕輪2-1-37	氏名	日東化工株式会社 代表取締役 草野 宇雄
事業の概要（事業者の主たる業種）		19ゴム製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度	32.3	t-CO <sub>2</sub>								
前年度	2023	年度	47.7	t-CO <sub>2</sub>								
報告年度	2024	年度	29.5	t-CO <sub>2</sub>								
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率	21.7	%										
再エネ利用率	40	%										
基準年度比削減率（排出量ベース）	8.7	%										
前年度比削減率（排出量ベース）	38.2	%										
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）	生産量											
基準年度比削減率（原単位ベース）	2.6	%										
前年度比削減率（原単位ベース）	38.8	%										

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2024年度（2024年4月～2025年3月）につきましては、当社事業活動においては、国内外向け製品とも昨年より様子見ムードが多く、仕事量が若干の上昇に留まった。その中で、この度の補助事業である太陽光発電設備の稼働開始日が2024年2月23日からでしたので、今回はフルに削減効果を発揮できたゆえ 前年度比では38.8%と大幅に、基準年度比では8.7%を削減することができた。
(2) 次年度の取組み予定について
2025年度につきましては、太陽光発電による削減効果はもう期待できないので、更に「ガソリン車からEV車への置き換え」を検討していきたい。また生産性の向上により単位時間あたりの出来高を上げ、原単位ベースでの削減をはかっていく。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府堺市美原区太井248-1	氏名	株式会社イシカワ 代表取締役 石川剛柔
事業の概要（事業者の主たる業種）		8設備工事業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			53.7	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			48.5	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			55.7	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-8.4	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-3.7	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					-14.8	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
照明器具はLED化済、また空調機器も高機能型に更新しました。使用電気量の把握のため日本テクノ製のデマンド監視システムを導入して節電対策を継続しています。不在時の不要な照明器具は人感センサーにし、空調機器の使用を控え節電しています。温暖化などによる猛暑日が続く熱中症対策の為、エネルギー使用量が増加しています。
(2) 次年度の取組み予定について
引き続き、常に節電、省エネを意識して無駄な電気を使わないようにしていきます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府八尾市上之島町南2-1-3	氏名	上野建設工業株式会社 代表取締役 上野 純孝
事業の概要（事業者の主たる業種）		6総合工事業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2021	年度			26.7	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			21.5	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			15.6	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					37.5	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					41.6	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					27.4	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
異常気象の日が長期間続き、社員の体調管理のために空調機器の使用頻度・期間ともに多大に増えたが、消費電力は大幅に抑えることができた。燃料については、業務上必要不可欠であり使用量の調整も困難であるが、エコ運転等で工夫し削減に務めた。
(2) 次年度の取組み予定について
社内のサステナビリティ委員会にて省エネ製品の導入について検討する。また、既存設備の高効率設備への切替も順次検討する。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市横枕西12-16	氏名	株式会社マルク 久野利一
事業の概要（事業者の主たる業種）		55その他の卸売業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2013	年度					0.3					t-CO <sub>2</sub>
前年度	2023	年度					0.3					t-CO <sub>2</sub>
報告年度	2024	年度					0.3					t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							0					%
再エネ利用率												%
基準年度比削減率（排出量ベース）							0					%
前年度比削減率（排出量ベース）							0					%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）												%
前年度比削減率（原単位ベース）												%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
目標にしていたレイアウトの見直し空調が必要なスペースに対して区画を行った。
(2) 次年度の取組み予定について
引き続き作業エリアとの区画整理を行う。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府門真市東田町26番15号	氏名	株式会社三協 代表取締役中村万寿雄
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度	256	t-CO <sub>2</sub>								
前年度	2023	年度	298.6	t-CO <sub>2</sub>								
報告年度	2024	年度	313.8	t-CO <sub>2</sub>								
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率			-7.2	%								
再エネ利用率				%								
基準年度比削減率（排出量ベース）			-22.6	%								
前年度比削減率（排出量ベース）			-5.1	%								
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）				%								
前年度比削減率（原単位ベース）				%								

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
仕事立ち上げ時の電力使用量を削減する為、時間外労働をなくし、中日に休日がある際は、連休で休みを取り、中日の休日を稼働日にする等の対策をしましたが、仕事量が増えている為、昨年より増加しました。
(2) 次年度の取組み予定について
昨年度同様、引き続き、中日に休日がある際は、連休で休みを取り、中日の休日を稼働日にする等の対策をしていく予定です。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府八尾市若林町2-111	氏名	株式会社菱屋 代表取締役柳本泰志
事業の概要（事業者の主たる業種）		26生産用機械器具製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2013	年度			241.7			t-CO <sub>2</sub>				
前年度	2023	年度			91.8			t-CO <sub>2</sub>				
報告年度	2024	年度			87.6			t-CO <sub>2</sub>				
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					1.3			%				
再エネ利用率								%				
基準年度比削減率（排出量ベース）					63.8			%				
前年度比削減率（排出量ベース）					4.6			%				
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）								%				
前年度比削減率（原単位ベース）								%				

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2024年1月より開始した本取組みにて、社内に脱炭素委員会を設置した。 本年度のはじめに取組方針・目標を委員会全員で再確認。 エネルギー使用量や環境取組の推進状況を共有しながら温室効果ガス排出削減に取り組んだ。 改めて2030年度までに基準年度比19%以上を削減することをかくにんした。
(2) 次年度の取組み予定について
日常使用するエアコンについて、フィルターの清掃と熱交換器のクリーニングの予定・実施表を作成し、記録・管理する。電力を多く使用する機械設備については受注量に応じて、始動時刻・終了時刻を調整することとした。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府和泉市春木町68	氏名	朋友金属株式会社 代表取締役 津田岳彦
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2023	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度					185.2					t-CO <sub>2</sub>
前年度	2023	年度					182.3					t-CO <sub>2</sub>
報告年度	2024	年度					230.8					t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							-33.9					%
再エネ利用率												%
基準年度比削減率（排出量ベース）							-24.6					%
前年度比削減率（排出量ベース）							-26.6					%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）											取扱量	
基準年度比削減率（原単位ベース）							-42.3					%
前年度比削減率（原単位ベース）							-50.3					%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2024年度は、金属加工生産量が前年度比で15%増加した一方で、全体の取扱量は16%減少しました。取扱量が減少しているにもかかわらず、CO <sub>2</sub> 排出量に大きく影響する電力使用量が前年度比で37%も増加したため、CO <sub>2</sub> 排出量は前年度を大きく上回る結果となった。特定の加工設備で稼働時間が増加していること（設備別使用量の偏在）が電力使用量増大の要因だと推測する。効率的な生産管理が必要である。
(2) 次年度の取組み予定について
2025年度の取扱量は前年度とほぼ同水準となる見込みであることから、生産性の向上と効率的な生産計画の推進により、エネルギー使用量の最適化とCO <sub>2</sub> 排出量の削減を図る。 2025年12月に生産性向上を目指した省エネ型の生産設備（2025年12月 ニイガタマシンテクノ横型マシニングセンタ グリーンパッケージ仕様）導入を決定した。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市西堤本通西 1-3-43	氏名	フセハツ工業株式会社 代表取締役 吉村 篤
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			156.8		t-CO <sub>2</sub>					
前年度	2023	年度			0		t-CO <sub>2</sub>					
報告年度	2024	年度			153.2		t-CO <sub>2</sub>					
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							%					
再エネ利用率							%					
基準年度比削減率（排出量ベース）					2.3		%					
前年度比削減率（排出量ベース）							%					
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）							%					
前年度比削減率（原単位ベース）							%					

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
設備稼働の最適化：生産計画の見直しにより、熱処理炉の稼働時間を集約 老朽設備の更新：一部の空調設備を省エネ型機器へ更新・コンプレッサーの漏洩点検・修繕を実施 電力使用量：前年対比 約8%増加しているが生産数は11.4%増加している。稼働率が増加し使用量が上げている。
(2) 次年度の取組み予定について
導入するコンプレッサーは様々な機械の動力源であり、エネルギーの体系的な運用管理によって、温室効果ガスの排出量やエネルギーコストの低減につなげることができる。月エネルギー使用量等の動向を掲示し全体に周知する。老朽化している設備を見直し、最新の高効率設備、照明や空調等の導入を検討する。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市城東区今福西1丁目2番8号	氏名	医療法人 金井産婦人科 理事長 金井 宏之
事業の概要（事業者の主たる業種）		83医療業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			192.3		t-CO <sub>2</sub>					
前年度	2023	年度			0		t-CO <sub>2</sub>					
報告年度	2024	年度			175.1		t-CO <sub>2</sub>					
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率								%				
再エネ利用率								%				
基準年度比削減率（排出量ベース）				8.9		%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）								%				
前年度比削減率（原単位ベース）								%				

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
廊下・事務室・病室等に蛍光灯があり、電気使用量が多くなっています。
(2) 次年度の取組み予定について
LED照明器具へ更新することにより、1割の削減を目指します。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市西区九条1-15-23	氏名	医療法人仁生会 内藤病院 理事長 内藤方克
事業の概要（事業者の主たる業種）		83医療業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間													
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日	
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量													
区分		温室効果ガス総排出量											
基準年度	2013	年度			1017.1							t-CO <sub>2</sub>	
前年度	2023	年度			0							t-CO <sub>2</sub>	
報告年度	2024	年度			826.9							t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況													
原油換算量削減率													%
再エネ利用率													%
基準年度比削減率（排出量ベース）						18.7							%
前年度比削減率（排出量ベース）													%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）													
基準年度比削減率（原単位ベース）													%
前年度比削減率（原単位ベース）													%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
LED設備の導入や不要箇所の電気消灯の徹底をもって削減を実行した
(2) 次年度の取組み予定について
省エネ診断の受診、省エネ製品の導入を検討する

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市西区西本町1-15-8	氏名	富士建設株式会社 代表取締役 加納 優希
事業の概要（事業者の主たる業種）		6総合工事業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			193.6	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			193.1	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率						%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					0.3	%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
対策初年度のため、現状把握と対策に向けた準備を取り組んだ。 ・次年度取り組み予定のLED更新に関する計画と準備（既存設備の位置・仕様書の確認および整理、図面の作成、エネルギー使用量・CO2排出量の算出等） ・機器管理台帳等の整理
(2) 次年度の取り組み予定について
事業所内の照明についてLED照明への更新を予定しており、共有部および一部専有部内を更新予定。 残りの専有部の照明については次年度以降、段階的な更新を検討している。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府高槻市大塚町四丁目11番5号	氏名	紀陽食品株式会社 代表取締役 藤下 敏博
事業の概要（事業者の主たる業種）		52飲食料品卸売業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度			195.8	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			300.3	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率						%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-53.4	%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2024年度に、空調設備の更新を致しました。 設備の更新後に、茨木工場で設備の稼働を開始した為、温室効果ガスの削減がマイナスになっています。今後はエネルギー使用量の管理、設備の運用管理を実行し、削減目標の達成をしていきます。
(2) 次年度の取組み予定について
引き続き、エネルギー使用量の管理、設備の運用管理を実行し、エネルギー削減に努めます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府松原市3-11-14	氏名	株式会社嘉利吉 代表取締役 山口 司
事業の概要（事業者の主たる業種）		52飲食料品卸売業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2022	年度					120					t-CO <sub>2</sub>
前年度	2023	年度					0					t-CO <sub>2</sub>
報告年度	2024	年度					147.1					t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率												%
再エネ利用率												%
基準年度比削減率（排出量ベース）							-22.6					%
前年度比削減率（排出量ベース）												%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）												%
前年度比削減率（原単位ベース）												%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
冷凍機（冷凍・冷蔵）を省エネ効率機器に更新したが、基準年度から排出量が増加したのは、電力事業者のCO2排出係数が増加したためだと考えられる。
(2) 次年度の取組み予定について
適正温度管理の確認、運用改善やエアカーテン・断熱材導入なども検討する。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府池田市満寿美町3-1	氏名	株式会社鷹一建設 代表取締役 井上慶三
事業の概要（事業者の主たる業種）		80娯楽業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			164	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			137.9	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率						%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					15.9	%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
店内の一部、LED設備の導入
(2) 次年度の取組み予定について
引き続きLED設備の導入を検討する。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市西区南堀江1丁目 15番9号4階	氏名	株式会社STAKK 代表取締役 吉田将希
事業の概要（事業者の主たる業種）		78洗濯・理容・美容・浴場業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2013	年度			7.4		t-CO <sub>2</sub>					
前年度	2023	年度			0		t-CO <sub>2</sub>					
報告年度	2024	年度			7.9		t-CO <sub>2</sub>					
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							%					
再エネ利用率							%					
基準年度比削減率（排出量ベース）					-6.8		%					
前年度比削減率（排出量ベース）							%					
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）							%					
前年度比削減率（原単位ベース）							%					

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
エアコン機器を最新の機器に交換し、ガス削減を図るため社員全員で、無駄な出社をなくし、全体の電気使用量削減に向け方針を決めたが、今年の気温上昇と顧客からの要望もあり、エアコンを使用する機会が増えたことにより結果基準年度は削減となったが、昨年度よりは温暖化ガス削減はできなかった。但し、機器交換をせず以前のままであれば温暖化ガスの増加量はもっと多いので、そういう意味ではエアコン機器交換による一定の成果はあったと考える。
(2) 次年度の取組み予定について
毎月の電気ガス使用量と前月または前年との比較値を社員間で情報共有する。また、目標削減値の10%を下回っている場合は、その原因を全員で追及し年間エネルギー使用量が目標値を上回るように対応策を考え実行する。（PDCAを回す）

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府堺市堺区南島町3丁131	氏名	下宮金属工業株式会社 代表取締役 下宮 正裕
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			66.8	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			94.4	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率						%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-41.3	%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2030年度までに基準年度比11.2%削減することを目標に、社内にて省エネ対策委員会を設置、専務をトップとして各部署をまとめる。電気代高騰に向け、節電・使い方マニュアルを作成、周知徹底する。現在、再生可能エネルギー10%の電力契約をしている。さらに再エネへの切替を検討する。ただ、弊社の空調におきましてはGHPを使用しており今年の夏の高温により従事者の体調を最優先するために増加したものと思われまます。
(2) 次年度の取組み予定について
本年も一部LEDに変更したが、引き続きまだの照明も省エネタイプに変更していく予定。工場全体が高温になるので空調の温度設定の管理をおこない。空気の流れを作り省エネルギーながら快適な職場環境を整える。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府堺市東区北野田1-6-フロントタワー1105	氏名	居酒屋グウフォ 中岡 史記
事業の概要（事業者の主たる業種）		76飲食店		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度	169.4	t-CO <sub>2</sub>								
前年度	2023	年度	0	t-CO <sub>2</sub>								
報告年度	2024	年度	96.4	t-CO <sub>2</sub>								
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率				%								
再エネ利用率				%								
基準年度比削減率（排出量ベース）		43.1		%								
前年度比削減率（排出量ベース）				%								
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）				%								
前年度比削減率（原単位ベース）				%								

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
エアコンを省エネかつ高効率な機種に入替を行った
(2) 次年度の取組み予定について
LED設備導入の検討

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市横枕南1-18	氏名	矢嶋工業株式会社 矢嶋 勝治
事業の概要（事業者の主たる業種）		18プラスチック製品製造業（別掲を除く）		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			70.6	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			81.9	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率						%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-16	%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
<p>2030年度までに基準年度比10.3%削減することを目標に、社長と各部署の責任者と一緒に省エネ対策ができていないかを管理する。生産機械、空調、照明などの運転管理を行う。2025年1月、1975年製の変圧器を省エネタイプのトップランナー変圧器に取り換える改修工事を実施した。基準年度から排出量が増加したのは、主に電気のCO2排出係数が増加したことが要因だと考えられる。エネルギー比率は削減できるように努力している。</p>
(2) 次年度の取組み予定について
<p>次年度は省エネ診断等をもとに、清掃の強化、残りの空調・生産機械などの改修に取り組む予定。電力会社との再エネプランを検討など、省エネ・再エネに取り組む。新電力の再エネプランへの切替や、非化石証書によるCO2削減も検討する</p>

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市淀川区田川3-5-20	氏名	稲畑香料株式会社 代表取締役社長 稲畑 勝弥
事業の概要（事業者の主たる業種）		16化学工業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			622	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			582.7	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率						%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					6.3	%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）					製造数量							
基準年度比削減率（原単位ベース）					8.8	%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
<p>製造数量が前年度より2.7%増加しましたが、温室効果ガスの排出量は6.3%削減しています。2024年度の活動としては、社有車（2台入替分）をハイブリッド車に変更し、ボイラー立ち上げ時間の調整による稼働時間の短縮を実施しています。また、全社の活動方針に「温室効果ガスの削減」を指示しており、各部署で省エネの活動を実施しており、意識が向上していると感じます。</p>
(2) 次年度の取組み予定について
<ul style="list-style-type: none"><li>ボイラーのタイマー機能を活用して稼働時間を短縮する。未使用エリアへの供給遮断</li><li>照明をLEDに変更する。</li><li>再生可能エネルギーの購入の検討</li></ul>

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪市東成区東小橋三丁目8番9号	氏名	株式会社オノウエ 代表取締役社長 尾上 知裕
事業の概要（事業者の主たる業種）		52飲食料品卸売業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			257.2	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			257.2	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			241.9	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率					-1.6	%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					5.9	%						
前年度比削減率（排出量ベース）					5.9	%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2024年度に空調設備の更新工事を実施いたしました。 設備の更新とともに、エネルギー使用量の管理や、設備の運用管理を実行することで、削減目標の達成をしていきます。
(2) 次年度の取組み予定について
引き続き、エネルギー使用量の管理、設備の運用管理を実行し、エネルギー削減に努めます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府吹田市片山町3丁目3番3号	氏名	フードネットリテール株式会社 代表取締役・酒井 修司
事業の概要（事業者の主たる業種）		52飲食料品卸売業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			1342.6	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			1408.1	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率						%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					-4.9	%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
2024年度に、空調設備の更新をいたしました。削減効果として42442.9kWh（18.42t）を見込んでおりましたが、2024年9月の亥子谷店のオープンに伴い、大阪府下の店舗が7店舗から8店舗に増えたため、エネルギーの使用についても増加しております。今後は設備の更新と共に、エネルギー使用量の管理や、設備の運用管理を実行することで、削減目標の達成をしていきます。
(2) 次年度の取組み予定について
引き続き、エネルギー使用量の管理、設備の運用管理を実行し、エネルギー削減に努めます。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府東大阪市柏田本町16番27号	氏名	大阪美錠工業株式会社 代表取締役社長 齊藤佳津
事業の概要（事業者の主たる業種）		24金属製品製造業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2021	年度			160.4	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			154.9	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率						%						
再エネ利用率						%						
基準年度比削減率（排出量ベース）					3.4	%						
前年度比削減率（排出量ベース）						%						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）						%						
前年度比削減率（原単位ベース）						%						

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
コンプレッサーをインバーター付のコンプレッサーに交換する事により、基準年度比で3.4%削減する事ができました。
(2) 次年度の取組み予定について
蛍光灯からLED照明に変更を予定しています。

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府大阪市天王寺区上本町8丁目7番10号	氏名	エリート株式会社 代表取締役 政所 理佳
事業の概要（事業者の主たる業種）		69不動産賃貸業・管理業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度			53.6	t-CO <sub>2</sub>						
前年度	2023	年度			0	t-CO <sub>2</sub>						
報告年度	2024	年度			52.4	t-CO <sub>2</sub>						
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率							%					
再エネ利用率							%					
基準年度比削減率（排出量ベース）				2.2			%					
前年度比削減率（排出量ベース）							%					
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）							%					
前年度比削減率（原単位ベース）							%					

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
・照明の一部でLED化を行った。
(2) 次年度の取組み予定について
・高効率設備への切り替えや省エネ製品の導入を検討する（LED化、高効率変圧器、高効率空調 等）

# 実績報告書

## 1. 届出事業者の基本情報

届出者	住所	大阪府堺市堺区神石市之町4番22-2号	氏名	有限会社 信 代表取締役 増崎 一樹
事業の概要（事業者の主たる業種）		85社会保険・社会福祉・介護事業		

## 2. 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況

(1) 計画期間												
2024	年	4	月	1	日	～	2031	年	3	月	31	日
(2) 各年度における温室効果ガス総排出量												
区分		温室効果ガス総排出量										
基準年度	2023	年度					55.1					t-CO <sub>2</sub>
前年度	2023	年度					0					t-CO <sub>2</sub>
報告年度	2024	年度					52.2					t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの排出の量の削減に関する目標の達成状況												
原油換算量削減率												%
再エネ利用率												%
基準年度比削減率（排出量ベース）							5.3					%
前年度比削減率（排出量ベース）												%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値名（選択した場合のみ）												
基準年度比削減率（原単位ベース）												%
前年度比削減率（原単位ベース）												%

## 3. 気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての自己評価
<ul style="list-style-type: none"><li>不要照明のこまめな消灯と、エアコンの適正な温度設定の管理を行った。</li></ul>
(2) 次年度の取組み予定について
<ul style="list-style-type: none"><li>高効率設備への切り替えや省エネ製品の導入を検討する（LED化等）</li></ul>